

# グローバル・ビジネス・モデル論

担当者 西井 進剛

開講時期 前期 単 位 2

## ●講義の概要

VUCA時代と呼ばれる今日におけるグローバル戦略のあり方について、ビジネスモデルの視点から考察し、理解を深める。世界のグローバル企業がどのようなグローバル戦略、ビジネスモデルを構築しているのかについて探求する。

## ●講義の到達目標

今日における「グローバル化」「グローバル戦略」「グローバル企業」の概念について理解する。ビジネスモデルの概念についても理解し、分析の方法論について習得する。受講生が選択した事例企業のビジネスモデルの分析、プレゼンテーションを通じて理解度を確認する。

## ●講義計画

- 第1回：ガイダンス：グローバル化の現状
- 第2回：『フラット化する世界』の議論の振り返り①（フラット化という概念についての考察）
- 第3回：『フラット化する世界』の議論の振り返り②（フラット化という概念の現代的検討）
- 第4回：「セミ・グローバルイゼーション」概念
- 第5回：CAGE分析
- 第6回：CAGE分析の実習
- 第7回：ビジネスモデルの概念、分析フレームワーク
- 第8回：ビジネスモデル分析の実習
- 第9回：事例研究（Apple）
- 第10回：事例研究（Amazon）
- 第11回：事例研究（Google）
- 第12回：事例研究（コカ・コーラ）
- 第13回：事例研究（トヨタ）
- 第14回：事例研究（アクセンチュア）
- 第15回：講義のまとめ

## ●成績評価基準と方法

- ・授業内でのプレゼンテーションの評価（40%）
- ・ダイアログやディスカッションへの参加度（30%）
- ・期末レポート（30%）

## ●テキスト又は参考文献

- ・トーマス・フリードマン（2006）『フラット化する世界（上・下）』日本経済新聞出版。
  - ・パンカジユ・ゲマワット（2020）『VUCA時代のグローバル戦略』東洋経済新報社。
  - ・アレックス・オスターワルダー&イヴ・ピニユール『ビジネスモデル・ジェネレーション』翔泳社。
- その他、授業内容や進捗状況に応じて適宜指示する。

## ●受講上の留意点

毎回の授業にてテキストの内容発表や事例研究に関する担当を決めてプレゼンテーションを求める。テキストや関連資料等を事前に読み込んでから授業に参加する。ダイアログやディスカッションへの積極的な参加を求める。期末試験として授業内で取り扱った事例以外のグローバル企業のビジネスモデル分析についてのレポートの提出を求める。授業内で取り扱う事例研究の対象企業は、受講生の希望により変更することも可能とする。受講者数の多寡により授業内容や課題については調整する。